

第4学年「てつがく創造活動」学習活動案

授業者 片山 守道

2月20日（木） 1階多目的室 9:00～9:40

1 活動名 「ものづくり」を学んで

2 活動について

4年生の「てつがく創造活動」を始めるにあたって、今年度取り組んでみたいことを尋ねたところ、これまでの楽しかった体験活動を想起し、お祭りや製作活動、まね事・模倣品による疑似体験（ごっこ遊び）を希望する声が強かった。もう少し経験の幅を広げたいという教師の願いもあり、子どもたちが「自由な製作活動・自分で工夫して取り組む工作」といった意味合いで出してきた「ものづくり」をテーマに活動していくことにした。そして、本物に触れる体験から、ものづくりの本来の社会的な意味「日本の製造業やそこで使われる技術、人々やその文化」といったことに迫る学習を構想した。

1学期は、校外学習で合羽橋道具街と醤油工場へ行ったのをきっかけに、「ものづくり」への関心を広げ、関心のある小テーマごとにグループをつくり追究してきた。

それに加え、2学期からは、「TOKYO 町工場 HUB」という団体の協力を得て、下町にある町工場見学やニコンの博物館見学、ロボット工学の研究者のお話を伺う機会など、新旧様々なものづくりの仕事に携わる方と直接関わる体験活動を通して、「日本のものづくり（文化）」に触れる機会を設けてきた。

3学期は、さらにそれぞれのテーマについて追究しつつ、「ものづくり学習発表会（仮称）」に向けて、これまでの活動から「ものづくり」について学んできたことをまとめてきている。

この1年間の「ものづくり」の学習で行った一つ一つの体験の何が印象に残り、どのようにとらえてきたのかは人それぞれだが、その、個々のものづくりに対する思いを共有し、これまでの体験に対する見方を広げていくことで、これまでの体験の自分にとっての意味が明確になり、価値ある経験になっていくのではないだろうか。

このような考えから、それぞれが「ものづくり」に対して考えていることを言語化し、対話を通して見つめ直すことで、具体（的な体験）と抽象（的な言語）の往還の中から、実感を伴う学びの意義を見出し、学習のまとめへとつなげていってほしいと願っている。

3 学習活動計画（4時間目／全5時間）

第1次 「ものづくり」の活動で取り組んできたことを振り返ろう	1時間
第2次 自分にとっての「ものづくり」を見つめよう	2時間
第3次 「ものづくり」を学んで得た思いについて対話しよう	2時間（本時1／2）

4 本時の学習について

（1）本時のねらい

- ・具体的な取り組みと結びつけて、「ものづくり」に対するそれぞれの思いを対話し、自分にとっての意味を見つめ直す。

（2）予想される本時の展開

予想される主な学習活動	留意点
○本時の「問い」を確認し共有する。	・前時の振り返りを紹介する。 ・必要に応じて、掲示した「ものづくり」への気づきをまとめたカードを操作し、思考整理に役立てる。 ・振り返りの観点を示しておく。
○対話して、考えを聴き合う。	
○本時の学びを振り返る。	